

「心に残る文化財子ども塾」活動の様子～益田市立中西小学校～

1. 活動の概要

令和7年6月12日（木）、益田市立中西小学校で「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。活動は「古代人の生活を知る」というテーマで、益田市内の古墳の概説、遺物見学と古墳見学、そして勾玉づくり体験を行いました。

まずは地元益田市教育委員会職員から古墳の形や大きさ、構造の違いなどについて、市内の古墳を紹介しながら説明がありました。益田市には島根県内でも最大級のスクモ塚古墳を初めたくさんの古墳があることが分かりました。次に益田市内の古墳から出土した遺物を中心に遺物の見学をしました。そして学校の脇にある白上古墳の横穴式石室に入って解説を聞きながら見学しました。石室の石がどうやって運ばれたのかなど疑問が浮かび地元古墳にたいして興味がさらにわいてきました。

勾玉づくり体験では、最初に勾玉の形や材料の違いや色に違いがあることや、実際の使用例について説明を受けました。つぎに古墳時代の出雲（島根県東部）が玉づくりの中心地であったことを学びました。

蠟石ろうせきを使った体験では遺跡から出土する勾玉のようになめらかな形にするのは難しく、悪戦苦闘の様子でした。授業では最後まで完成することは困難でしたが、勾玉づくりの大変さと楽しさを感じることができました。

授業時間に対して座学・見学・体験と内容が盛りだくさんだったため、タイトなスケジュールでしたが、地元益田市古墳や実物の出土品に触れ、古代人の生活の一端について詳しく知ることができたと思います。

2. 活動の様子



古墳の形や大きさの違いについて知る



みんなで白上古墳の中へ！



益田市内出土の遺物見学



古代の玉づくりについて学習中



勾玉づくりにチャレンジ！

3. 子ども塾を終えて

① 児童の皆さんから

- ・益田市にも古墳がいっぱいあることが知れ、石室にも入れたことが心に残った。
- ・古墳についてももっと知りたい。
- ・古墳はどういう所につくられるのか、また決まっているのか知りたいと思った。
- ・昔のものをみてその時代を感じたことが心に残った。
- ・勾玉づくりがたいへんだった。
- ・アクセサリーについてもっと知りたいと思った。

② 担任の先生から

- ・古墳を見学して、古代の技術について考えることができた。
- ・勾玉づくりをとおして勾玉のもつ意味やつくる楽しさを知れた。
- ・複数回実施したい。

③ 埋文センターから

- 内容の主題が白上古墳の見学であったため、益田市教育委員会職員さんの協力を得て①古墳の説明（特に益田市内の古墳）、②古墳出土遺物の見学、③白上古墳（石室内）見学の流れで充実した古墳学習が実施でき、古墳に対する理解や地元の古墳に対する思いが高まったように感じられました。
- 勾玉づくり体験では時間内の完成は困難ではあったが、勾玉づくりの難しさを知ることができ、また古代の装飾品に対し興味をもつきっかけにもなったと思われまてす。

